

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	敦賀市立看護大学
設置者名	公立大学法人敦賀市立看護大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信	25		92	117	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 URL : https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/234/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	敦賀市立看護大学
設置者名	公立大学法人敦賀市立看護大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/73/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職：団体職員	2023. 4. 1 ～2026. 3. 31	専門的知見からの 組織運営
非常勤	前職：団体職員	2023. 4. 1 ～2026. 3. 31	専門的知見からの 組織運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	敦賀市立看護大学
設置者名	公立大学法人敦賀市立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>					
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学内委員会である教務委員会において作成に係る要領に基づき、授業計画書(シラバス)を作成している。</p> <p>授業計画書(シラバス)には、科目名、単位数(時間数)、授業形態(方法)、授業目的(目標)・授業概要、授業内容(スケジュール等)、授業に必要な書籍、成績評価基準・方法、当該授業の履修要件、留意事項(事前学習等)を明記している。</p> <p>授業計画書(シラバス)は本学ホームページにおいて公表し、3月末に年度更新している。</p>					
授業計画書の公表方法		<p>ホームページにて公表 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/234/</p>			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>					
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位は、授業科目を履修した後、学修成果・修得状況の評価し認定する。</p> <p>評価は、レポート・小テスト・技術試験・期末試験等により厳格かつ適正に行っている。評価結果は、A、B、C、Dで示され、合格した学生には、所定の単位が与えられる。ただし、出席時間数が授業科目の全時間数の3分の2に満たない学生には、単位を与えない。</p> <p>成績評価は以下のとおり</p>					
判定	合格			不合格	※評価対象外
評点	80点以上	80点未満 70点以上	70点未満 60点以上	60点未満	点数なし
評価	A	B	C	D	E

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA制度を導入して、学生の成績を数値化し、全体の成績の把握、個別の修学指導や学生自身の履修計画に活用している。

成績評価とGP (Grade Point) の対応

成績評価	A	B	C	D
GP	4	2	1	0

計算式

$\frac{\text{【各履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数】の合計}}{\text{履修した科目の単位数の合計}}$
--

※既修得単位はGPAに算入しない。

※評価対象外 (E判定) となった科目はGPAに算入しない。

※D評価を受けた科目を再履修した場合、再履修した方の成績のみGPAに算入する。

※他大学の科目等で卒業要件として認められない科目はGPAに算入しない。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生向け冊子「学生便覧」にて公表
冊子「学生便覧」はホームページで公開。
<https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/239/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則及び履修規程に規定する卒業要件単位数並びにディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に基づき、卒業判定会議において、卒業を認定している。

ディプロマ・ポリシーは以下のとおり

1. 豊かな教養と学問への探求心を備え、自立した社会人として行動ができる。
2. 人々の生命や生き方に畏敬の念を持ち、倫理観に基づいて適切な看護が実践できる。
3. 多様な対象に対応できる看護の専門的知識・技術・実践力を身につけている。
4. 救急・災害看護学、在宅看護学、地域看護学の選択分野を学習し、地域保健医療の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている。
5. 保健・医療・福祉等の関連分野の人々と連携、協働ができる能力を身につけている。
6. 将来にわたり看護の発展に寄与できるよう、自己研鑽力と基本的な研究能力を身につけている。

<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ及び冊子「学生便覧」にて公表 冊子「学生便覧」はホームページで公表 学則及び履修規程 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/52/ ディプロマ・ポリシー https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/38/ 学生便覧 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/239/</p>
------------------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	敦賀市立看護大学
設置者名	公立大学法人敦賀市立看護大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/119/
収支計算書又は損益計算書	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/119/
財産目録	
事業報告書	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/119/
監事による監査報告(書)	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/119/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人敦賀市立看護大学 令和6年度年度計画 対象年度:令和6年度)
公表方法:ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/72/
中長期計画(名称:公立大学法人敦賀市立看護大学 第2期中期計画 対象年度:令和2年度~令和7年度)
公表方法:ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/72/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/72/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/282/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部看護学科
教育研究上の目的 (公表方法：ホームページ及び冊子にて公表。冊子はホームページで公表。) ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/37/ 冊子 大学案内、入学者選抜要項、学生募集要項、学生便覧
(概要) 基本理念 敦賀市立看護大学は、豊かな教養と総合的な判断力、高度な専門的知識と実践力を有する人材を育成するとともに、看護の発展に貢献できる質の高い研究に取り組むことを通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる大学を目指します。 教育目標 1. 学問への関心を持ち、豊かな教養を身に付け、自立した社会人として行動できる能力を育成します。 2. 人々の生命に対する畏敬と、生き方への尊厳の念を持って看護が提供できる豊かな人間性を育成します。 3. 高度な医療に対応できる専門的知識、技術、倫理観を身に付け、看護が実践できる能力を育成します。 4. 地域医療の充実と発展を自らの使命とし、他職種と協働して地域に貢献できる能力を育成します。 5. 専門職としての誇りを持ち、将来にわたり看護を発展させていくための自己研鑽能力と主体的研究能力を育成します。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：ホームページ及び冊子にて公表。冊子はホームページで公表。) ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/38/ 冊子 学生便覧 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/239/
(概要) ディプロマ・ポリシー 1. 豊かな教養と学問への探求心を備え、自立した社会人として行動ができる。 2. 人々の生命や生き方に畏敬の念を持ち、倫理観に基づいて適切な看護が実践できる。 3. 多様な対象に対応できる看護の専門的知識・技術・実践力を身につけている。 4. 救急・災害看護学、在宅看護学、地域看護学の選択分野を学習し、地域保健医療の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている。 5. 保健・医療・福祉等の関連分野の人々と連携、協働ができる能力を身につけている。 6. 将来にわたり看護の発展に寄与できるよう、自己研鑽力と基本的な研究能力を身につけている。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページ及び冊子にて公表。冊子はホームページで公表。) ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/38/ 冊子 学生便覧 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/239/</p>
<p>(概要)</p> <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教養科目は、学ぶことへの知的好奇心を養い、事象に対して深く掘り下げて考える力、自ら課題解決を行える力を育成するための基礎的な科目を配置している。 2. 専門基礎科目では、人を心身両面から理解するのに必要な基礎科目と社会や医療を幅広く理解する科目を配置している。 3. 看護専門科目では、看護のジェネラリストとしての専門家を養成するため、必要な知識と技術を体系的に学習できる科目を配置している。 4. 地域医療の充実と発展に貢献できる能力を養うために、その専門性を深めるべく、救急・災害看護学、在宅看護学、地域看護学を選択して履修できる科目を配置している。 5. 看護の発展に寄与できる能力を養うために、最終学年には看護を統合する科目を配置している。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページ及び冊子にて公表。冊子はホームページで公表。) ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/38/ 冊子 大学案内、入学者選抜要項、学生募集要項、学生便覧</p>
<p>(概要)</p> <p>アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「人」に関心を寄せることができる人 2. 他者の考え方や生き方を尊重できる人 3. 他者を通して自分自身を省みることのできる人 4. 主体的に考えることのできる人 5. 自己の能力を高めようと勉学に努める人 6. 大学で学んだ看護学を地域社会のために生かそうという志のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページ 大学概要・組織 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/56/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学部	—	15人	2人	4人	5人	1人	27人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページにて公表 https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/59/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業評価アンケートの実施 教員（職員含む）研修会の実施							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	50人	56人	112%	200人	225人	112.5%	0人	0人
合計	50人	56人	112%	200人	225人	112.5%	0人	0人
(備考) 敦賀市立看護大学看護学部においては、編入学制度はありません。								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	53人 (100%)	4人 (7.5%)	47人 (88.7%)	2人 (3.8%)
合計	53人 (100%)	4人 (7.5%)	47人 (88.7%)	2人 (3.8%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
看護学部	56人 (100%)	48人 (85.7%)	7人 (12.5%)	人 (%)	1人 (1.8%)
合計	56人 (100%)	48人 (85.7%)	7人 (12.5%)	人 (%)	1人 (1.8%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>学内委員会である教務委員会において策定した要領に基づき、授業計画（シラバス）を作成している。</p> <p>授業計画書（シラバス）には、科目名、単位数（時間数）、授業形態（方法）、授業目的（目標）・授業概要、授業内容（スケジュール等）、授業に必要な書籍、成績評価基準・方法、当該授業の履修要件、留意事項（事前学習等）を明記している。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学則及び履修規程に規定する卒業要件単位数並びにディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、卒業判定会議において、卒業を認定している。</p> <p>ディプロマ・ポリシーは以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養と学問への探求心を備え、自立した社会人として行動ができる。 2. 人々の生命や生き方に畏敬の念を持ち、倫理観に基づいて適切な看護が実践できる。 3. 多様な対象に対応できる看護の専門的知識・技術・実践力を身につけている。 4. 救急・災害看護学、在宅看護学、地域看護学の選択分野を学習し、地域保健医療の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている。 5. 保健・医療・福祉等の関連分野の人々と連携、協働ができる能力を身につけている。 6. 将来にわたり看護の発展に寄与できるよう、自己研鑽力と基本的な研究能力を身につけている。 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	130 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>ホームページ https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/54/</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科 (市内者)	535,800円	166,000円	25,000円	その他については看護実習料
	看護学科 (市外者)	535,800円	332,000円	25,000円	その他については看護実習料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学年担当教員、キャリアゼミ担当教員、教務学生課を相談窓口として支援にあたっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年担当教員 4年間を通し2名の配置。学習での諸課題、学生生活全般のサポートを行う。 ・キャリアゼミ担当教員 1年次及び2年次開講必修科目「看護キャリアゼミⅠ・Ⅱ」担当教員。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学年担当教員、卒業研究担当教員（4年次開講必修科目「卒業研究」担当教員）を窓口として支援にあたっている。</p> <p>医療機関の案内パンフレット等、就職に関連した資料が閲覧できるよう就職支援資料閲覧コーナーを設置している。</p> <p>医療施設説明会（就職説明会）を学内で開催している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学年担当教員、キャリアゼミ担当教員、保健管理室（専従の看護師配置）、カウンセラー（専従の臨床心理士）が連携し、支援体制を整えている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ、冊子で公表。冊子はデジタル版あり	
大学	https://tsuruga-nu.ac.jp/
研究業績	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/161/
ジャーナル	https://tsuruga-nu.ac.jp/pages/134/